

第17回エデューカーレ in たかはし

市議会議員の皆さんと語り合う

「みんなで語ろう高梁の未来」

報 告 書

開催日時：令和元年7月20日(土) 13時30分～16時30分

会 場：吉備国際大学 国際交流会館

主 催：吉備国際大学社会科学部

後 援：高梁市、高梁商工会議所青年部

協 力：高梁地域まちづくり協議会

一般社団法人 梁クラス

実施主体：吉備国際大学社会科学部 井勝研究室

1. はじめに

近年、地方創生が叫ばれており、高梁市においても「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定して、市の活性化に取り組んでいます。しかしながら、相変わらず人口の減少に歯止めはかからず、このままでは市民生活にも大きな影響がでることになると思われま

す。
このような状況の中、地域の未来は行政だけに委ねるのではなく、市民が自分たちの手で考え、創り上げることが大切ではないでしょうか。そのためには、多くの若者や市民が高梁市の未来に関心を持つことが大切です。そこで、市民、若者、市議会議員の皆さんがざっくばらんに、高梁の未来について語り合う会を開催することにしました。

今回は、高梁の未来づくりについて成果を上げることが目標とせず、参加者が高梁の未来について考えている自分の思いを語り合うことで、多様な意見や考え方が存在することを認めあうことを目標として開催しました。

当日は、中学生から高校生、大学生をはじめ一般市民の方まで、多くの皆さんに参加していただき、市議会議員の皆さんと一緒に有意義な意見交換会ができました。参加してくださった皆様ありがとうございました。

2. 実施内容

1) 全体プログラム

下記に大まかな全体プログラムをまとめました。詳細は次ページのプログラムシートを参照してください。

1. オープニング：実行委員長開会あいさつ
2. チェックイン自己紹介
3. グループ分けとアイスブレイク①
4. フリップボード・ティスカッション
テーマ①高梁の人口はどのように変化すると思いますか？ そう思う理由は？
テーマ②幸せな人生を歩むために必要なことは何だと思いますか？
テーマ③議員さんに聞く：どんな高梁にしたいですか？
&参加者からのポジティブ意見
(休憩)
5. グループ分けとアイスブレイク②
6. ワールドカフェ
テーマ①市民が幸せに生きるために必要なことは何でしょう？
テーマ②こんな高梁になって欲しい
7. 発表
K P 法（紙芝居プレゼンテーション法）で発表
8. エンディング：閉会あいさつ

2) プログラムシート

プログラムシート

開始時間	所要時間	活動内容	目的	準備品・備考
13:30	5	・開会	・実行委員長挨拶 ・フォーラムの目的説明 ・本日のプログラム説明 ・本日のグランドルールの説明	・椅子だけでコの字型になって座る ・pptで説明
13:35	10	・チェックイン	・名前と住んでいるところ	・司会が例を示す ・全員一言(一人10秒) 60人として10分
13:45	10	・グループ分けとアイスブレイク	・グループ内アイスブレイク ・メインファシリテーターを決める	・名前順でグループ分け ・6~8人一組 ・アイスブレイク(チェックインシート) ・メインファシリとサブファシリ
13:55	40	・フリップボードディスカッション	・高梁の事について話し合い テーマ①高梁の人口はどのように変化すると思いますか？ そう思う理由は？ テーマ②幸せな人生を歩むために必要なことは何だと思えますか？ テーマ③議員さんに聞く:どんな高梁にしたいですか？ &参加者からのポジティブ意見	・テーマ揭示用ppt ・フリップボード ・A4用紙 ・マーカー ・タイマー ・ベル ・音楽 ・12分×3題(ディスカッションは10分)
14:35	10	・休憩	・休憩	・お菓子 ・飲み物
14:45	10	・グループ分けとアイスブレイク	・グループ内アイスブレイク ・メインファシリテーターを決める	・朝起きた順でグループ分け ・6人~8人一組 最大10グループ ・アイスブレイク(チェックイン自己紹介)
14:55	40	・ワールドカフェ	・高梁の未来について話し合い テーマ①市民が幸せに生きるために必要なことは何でしょう？ テーマ②こんな高梁になって欲しい	・エンタ君 ・マーカー ・テーマ①8分×3回=24分 ・テーマ②15分×1回
15:35	20	・KP作成	・KP発表方法のレクチャー(2分) ・KP作成 ①キーワードの書き出し(5分) ②並べて説明の練習(5分) ③キーワード変更(3分) ④A4用紙に書き出し(5分)	・pptで説明 ・ポストイット(大)キーワード書き出し用 ・A4用紙(1グループ10枚) ・マーカー
15:55	30	・KP発表	・発表 1グループ3分×10グループ	・ホワイトボード(2台) ・磁石
16:25	5	閉会	・市議会議員さん代表挨拶	
16:30		終了時間		

3. 実施結果

1) 参加人数（合計46人）

中学生	：	4人
高校生	：	6人
大学生	：	20人
一般市民	：	6人
市議会議員	：	8人
総合司会	：	1人
運営補助	：	1人

2) フリップボード・ディスカッションの結果

8グループに分かれてフリップボード・ディスカッションを行った。市議会議員の参加者が8名であったことから各グループに1名の市議会議員が加わってディスカッションを行うことができた。各テーマについて参加者のフリップボードに書き残されていたキーワードを以下に示した。

テーマ①「高梁の人口はどのように変化したいと思いますか？ そう思う理由は？」

- ・今の状態では人口流出に歯止めかからず... 交流人口増加成功すれば○
- ・2万人で止まる。
- ・日本人が減って留学生が増える。
- ・高齢者が増えて若い人は都会に行き人口は減ると思う。
- ・減少傾向
- ・1万人ほどから一定になる。
- ・このまま減るが、途中で緩やかになる。
- ・子供が減っているから。仕事のある所には人が残る。
- ・少しずつ減っていくと思う。
- ・高齢者と外国人が増える。
- ・徐々に減っていく。
- ・減少し続けるがある一定で止まる。
- ・一部では人が入ってくるかもしれないが少子高齢化が進むと思う。
- ・30年後ぐらいから2万人前後ぐらいでとどまる気がする。
- ・減り続ける。
- ・大学の存在がカギ。
- ・新たな高梁の独自文化が必要。
- ・2020年から2050年の間で人口が増える。
- ・人口が緩やかに減少するが1万人ほどは残ると思う。
- ・増加する。
- ・今よりは減っていき、2万人以下になると思う。そして1万5千人で止まる。
- ・最終的に消滅すると思う。

- ・ 2040年まで減り、2040年から増えると思う。
- ・ 緩やかに減少する。
- ・ どんどん減る。
- ・ 正直減っていくと思う。図書館はいいと思うがあんまりいかされていない。
- ・ 1万5千人で止まる。
- ・ 今からしばらく減っていくけどしばらくしたら減少が止まる。
- ・ 若い方が高梁から出ていき人口はどんどん減る。
- ・ 減り続け30年後5千人になる。
- ・ 減り続けるが2万～1万までになると思う。
- ・ 減っていると思います。理由は仕事なくなる。遊びどころがない。
- ・ ちょっとずつ増える。
- ・ このまま減っていく。
- ・ 2万5千人まで減りそこから一定になる。
- ・ 減少していく一方。
- ・ 減少してしまう。
- ・ 人口はなだらかではなく階段状になる。
- ・ 若年層のつなぎ止めができれば緩やかに減少。でも2040年で2万前後に。
- ・ この先どんどん人口が減っていくと思う。
- ・ 減少する。南部への流出と自然現象。

テーマ②「幸せな人生を歩むために必要なことは何だと思いますか？」

- ・ 家庭、安定した職。
- ・ 経験、人間関係。
- ・ 自信、知識、勇気
- ・ どんな時も自分の個性を生かせる方法を考えつつも周りを考えたりする我慢ではなく、忍耐を身に着ける。
- ・ 人間関係、好きな仕事。
- ・ 苦
- ・ ストレスがない。人とつながる、頼る、頼られる。
- ・ 家族、友達、時間、お金。
- ・ 仲間。
- ・ 地域ごとの寄り合い。
- ・ 自分を理解してくれる人。趣味。
- ・ 地域間での交流。
- ・ 友達、お金、自由な時間。
- ・ 理解し合える少数の友人。独自文化を育てる力を持つ。
- ・ 苦勞すること。努力すること。
- ・ 衣食住
- ・ 死ぬまでに私と世の中を歩いてくれる人。

- ・働き甲斐を感じられる仕事。
- ・いつでも相談に乗ってくれる人。
- ・お金と産むスキル。個人の。
- ・今を生きる、笑顔、楽しんで。
- ・健康。
- ・生きがい、目標。
- ・努力と分かってもらえる人。
- ・愛
- ・友達
- ・安全に生活できる。
- ・自由、好きなことをやる。
- ・人間関係
- ・頼れる場所。
- ・自由でやりたいことが出来る。
- ・信頼される人も信頼する人もいる。
- ・食事！
- ・息抜き。
- ・友人。
- ・人の営みとかかわること。
- ・人間関係。
- ・足るを知る。
- ・マズロー的に自己承認。やっぱりお金も必要ネ！
- ・家族・仲間。足るを知る。
- ・災害への対策。友達。
- ・ハマるような趣味。そのために、お金と時間が必要。

テーマ③「議員さんに聞く：どんな高粱にしたいですか」&参加者からのポジティブ意見

テーマ③では、まず議員の皆さんに「こんな高粱にしたい」という思いを語っていただき、その後、議員さんの思いを否定しないで、より前向きな話し合いができるように、議員さんの思いについて、こうすればもっとよくなる、という視点でグループのメンバーに意見を言ってもらった。下記の**A～C**は議員さんの思いである。なお、今回フリップボード・ディスカッションで記載されたディスカッション用紙の回収は任意としていたため、議員さんの思いで確認できたのは3つだけであった。

議員さんの思いの後ろには、参加者のポジティブ意見をいくつかのキーワードで分類して記載したが、参加者の意見の中には、下記3つの議員さんの思い以外の議員さんの思いに対する意見も入っている。

A : 幸福感の与感

B : 仕事がある、子育てしやすい、安全安心な地域

C : オタクが住んで楽しい高梁

【賑わい創出、オタク、イベント関係の提案】

- ・コスプレ？高梁グループ。
- ・「オタク」ということだけじゃなく、「自由な感じ」というのがいいと思いました。
- ・street musician
- ・山エンターテインメント、川釣り、電灯、バス、電車
- ・人が集まれる場をつくる。環境づくり。
- ・宿泊施設を増やす。
- ・観光。高梁のPR。
- ・公園
- ・スーパーまでバス。学校を増やす。
- ・映画村
- ・イベント！
- ・特産物のPR

【まちづくりについての提案】

- ・家族の時間を増やす。
- ・幸福感を達成するためにどうするかを考える。
- ・高梁市だけの特別な支援があってほしい。保育園など。
- ・人口、防災、子育て、高齢者の課題解決
- ・街灯、コミュニティ、相談できる場所
- ・子供とその親に対する支援を手厚くする。

【仕事についての提案】

- ・製造業の他の業種の誘致
- ・起業しやすい環境づくり。(市が先払いの助成金)
- ・いい教育が受けやすい町。仕事を始めやすい続けやすい町
- ・林業・農業だけでなく支援を。
- ・新しい仕事を増す。保育園。
- ・若い方がもっとアルバイトをできるように。

【多文化理解等についての提案】

- ・複数の考え方を身につけるため
- ・外国人から見ると・アルバイト・アパート・仕事・日本語コース
- ・留学生を中心に発展。
- ・外国人についてのイベント

3) ワールドカフェの結果

「市民が幸せに生きるために必要なことは何でしょう?」というテーマでワールドカフェを行った。ワールドカフェも各グループに1名の市議会議員が加わって8グループに分かれて話し合いを行った。各グループのシートに記載されていたキーワードを下記に示した。

【グループ1】

- ・遊ぶところ
- ・おいしい食べ物
- ・仕事場
- ・イオン
- ・保育士への支援
- ・進学先
- ・郷土愛
- ・農地整備
- ・河川整備
- ・スポーツができる環境
- ・観光の充実
- ・24Hの店
- ・子育て支援
- ・美しい景色
- ・移動手段を増やす
- ・高梁市で出産できるようにする
- ・廃校の活用（道の駅・ふれあいの場）
- ・無料Wi-Fi
- ・大きな商業施設
- ・外国人も住みやすく
- ・若者が訪れる工夫
- ・交通手段
- ・災害時の対策
- ・公園とこども園
- ・スポーツ用品店
- ・低コストの飲食店
- ・IT環境の整備
- ・保育施設の無料化 or 半額化

【グループ2】

- ・きれいな風景
- ・ドッグラン
- ・街灯を増やす
- ・起業家の育成
- ・松山城までの道すじへの回遊
- ・子育て制度
- ・便利
- ・起業しやすい環境
- ・学校の統合
- ・無駄なスペース
- ・ITスキルを勉強する場
- ・のら猫に対する相互理解
- ・観光地などのトイレをきれいにする
- ・市内観光地の活かし方
- ・食事ができる場所
- ・18歳まで医療費無料
- ・高梁でできることを増やす
- ・働く場所の確保
- ・保育士への支援

【グループ3】

- ・郷土愛
- ・水道料金を下げてほしい
- ・選挙に行ってほしい
- ・起業の支援をしてほしい
- ・バスやタクシーなどの交通が便利に
- ・飲食店
- ・運動場
- ・仕事
- ・サイクルショップ
- ・外国食材の店

- ・外国人も住みやすく
- ・面白い特別なイベント
- ・子供向けの遊び場
- ・人が集まるところ
- ・学費無償化
- ・街灯
- ・トイレチェック
- ・映画館
- ・スポーツ用品店
- ・アウトドアグッズ
- ・安全に遊べる場所
- ・商業施設
- ・市民間の相互理解
- ・ドッグラン
- ・無料 Wi-Fi
- ・飲食店

【グループ4】

- ・公共施設の効率化
- ・トイレ
- ・ペット道
- ・電灯
- ・デリバリ
- ・バスとバイトを増やす
- ・外国人が結婚しても住みやすいまち
- ・安全な公園
- ・アウトドアな店
- ・歩いて楽しいまちなみ
- ・サイクルショップ
- ・景観
- ・外国の食材の店
- ・挑戦できる場所
- ・たくさん子どもたち
- ・ちょっと遊べるところ
- ・無料 Wi-Fi
- ・公園の新設備
- ・市民の相互理解
- ・スポーツ店
- ・ドッグラン
- ・気軽に飲める場所
- ・写真スポット
- ・公共交通
- ・IT スキル

【グループ5】

- ・保育士への支援
- ・食事をするところ
- ・就職先
- ・大学を増やす
- ・保育士支援
- ・交通機関
- ・特別なものをつくる
- ・福祉の充実
- ・エデュカーレなどの交流するイベント
- ・医療
- ・子育て制度の充実
- ・仲間と過ごすこと
- ・バスの送迎
- ・遊ぶところ
- ・市民大会
- ・子供の笑顔
- ・ドッグラン
- ・道路の拡張

【グループ6】

- ・街灯
- ・Free Wi-Fi
- ・河川の整備
- ・道の拡張
- ・公共トイレをきれいに
- ・スポーツ用品店
- ・公園が欲しい
- ・高校生 バスの時間

- ・公共交通機関の充実
- ・公共施設の効率化
- ・自分たちで企画しようよ！
- ・里山の整備
- ・働く場が少ない
- ・高齢者に易しいまち

【グループ7】

- ・公共交通機関
- ・街灯
- ・コスプレ
- ・多様な意見や要望を行政や議会に反映させる仕組み
- ・道が広がる
- ・若者、高齢者の遊び場
- ・働き口の種類
- ・FreeWi-Fi
- ・きれいな風景
- ・生まれたらサポート
- ・外国人向けのイベント
- ・学生バス
- ・コンビニ
- ・治安
- ・河川の整備
- ・公園

【グループ8】

- ・ドッグラン
- ・スポーツ施設の充実
- ・サイクルショップ
- ・地域間の交流
- ・最低限の共通ルール（マナー）
- ・24営業
- ・意見が行政やギカイに届く仕組み
- ・子育て制度
- ・回覧板にアンケートを入れて意見を集める
- ・建物の再利用
- ・学生さんが起業する
- ・旅行代理店
- ・最低限の共通ルール
- ・災害への対策
- ・食事の出来るところ
- ・市民相互理解
- ・遊び場
- ・明るくしてほしい
- ・出産施設
- ・移動手段の増量

4) グループ発表（KP）

「こんな高梁になって欲しい」という話し合いの後、各グループ内で話し合った内容をKP法（紙芝居プレゼンテーション法）で発表した。話し合いシートに記載されていたキーワードと発表されたKPシートをグループ毎に下記に示した。

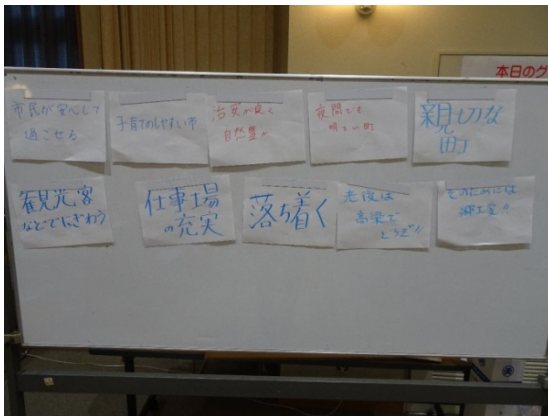
【グループ1】

① 話し合いシートに記載されていたキーワード

- ・郷土愛の充実
- ・外国人と日本人が交流できるイベント
- ・活気ある高梁
- ・安心できる
- ・「おかえり」と言ってくれるような町
- ・子育て支援の充実化
- ・明るい町
- ・仕事ができる場所
- ・久しぶりに帰ってきて落ち着ける場所
- ・仕事場が充実
- ・農作業体験
- ・備中牛をPR

- ・色々なところがにぎやかになってほしい ・ 出産施設が欲しい
- ・遮断器を下すのをもう少し粘ってほしい ・ 災害時対策の充実
- ・宿泊施設を増やしたり、お土産を増やして観光客を増やす
- ・高梁から出て行った老人が老後は高梁で暮らしたいと思って帰ってくる街
- ・若い人、子供、外国人にとって住みやすいところになってほしい

②グループ1の発表KPシート



グループ①の発表KPシート

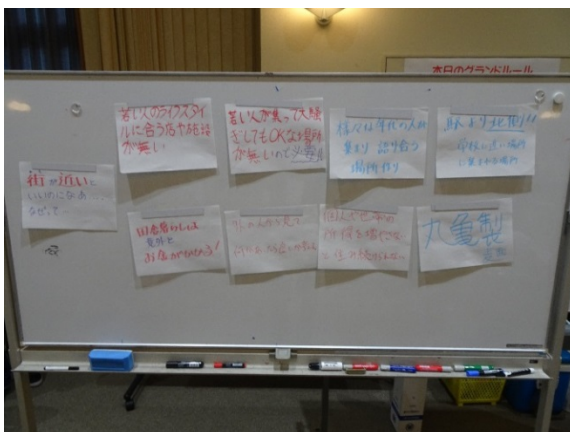
市民が安心して過ごせる	子育てしやすい市	治安が良く自然豊か	夜間でも明るい町	親切な町
観光客などにぎわう	仕事場の充実	落ち着く	老後は高梁でどうぞ!!	そのためには郷土愛!!

【グループ2】

① 話し合いシートに記載されていたキーワード

- ・市が近ければなあ、、、
- ・すむ人の立場になってアイデアを出す
- ・個人と世帯の所得をあげる
- ・田舎起業支援
- ・年代問わず集まれる場所（情報交換、人間関係構築）
- ・若者が集まってワイワイできる場所（駅より北側）
- ・ 娯楽施設（年代別）
- ・ Wi-Fi
- ・ 都会の人が夢見る田舎暮らしができる
- ・ 丸亀製麺

②グループ2の発表KPシート



グループ②の発表KPシート

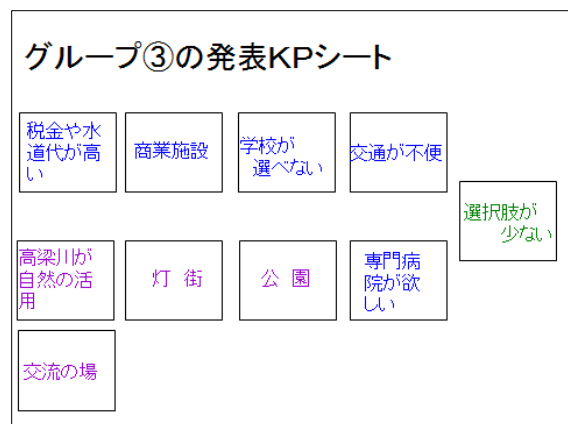
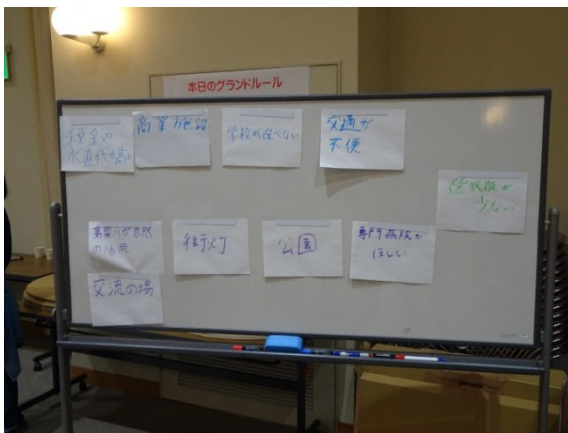
若い人のライフスタイルに合う店や施設が必要	若い人が集まってもOKな場所がないので必要	様々な年代の人が集まり語り合う場所作り	駅より北側！学校に近い場所に集まれる場所
街が近いといいのになあなせて…	田舎暮らしは意外とお金がかかる！	外の人から見て何が良かったら良いか考える	個人や世帯の所得を増やさないに住み続けられない
			丸亀製麺

【グループ3】

① 話し合いシートに記載されていたキーワード

- ・自然の活用
- ・大型商業施設
- ・水道代を安く
- ・お店を増やしてほしい
- ・郷土愛
- ・大きな本屋
- ・子供が安全に遊べる場所
- ・総合モール
- ・交流する場
- ・高梁川の活用
- ・社会的弱者が生きやすい街
- ・遊び場を増やしてほしい
- ・専門の病院が欲しい

②グループ3の発表KPシート

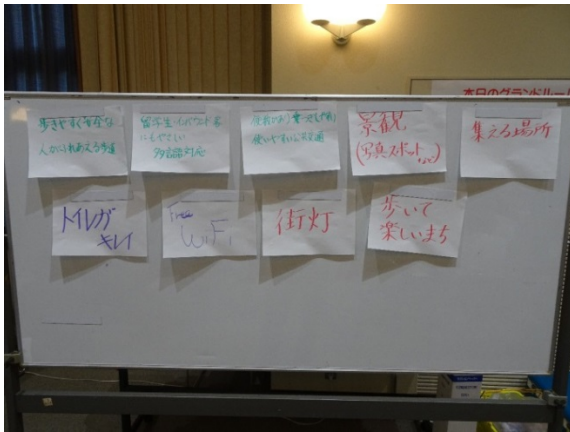


【グループ4】

① 話し合いシートに記載されていたキーワード

- ・歩道
- ・カラオケ
- ・移動がしやすい
- ・自転車で走りやすい町
- ・スポーツができる場所
- ・健康
- ・プライベートな落ち着ける所があるまち
- ・景観
- ・多言語対応バッチリ
- ・歩きやすい（安全な）道
- ・トイレがキレイなまち
- ・電波がどこでもとどく
- ・自然を活かした観光
- ・図書館だと知り合いに会いすぎ

②グループ4の発表KPシート



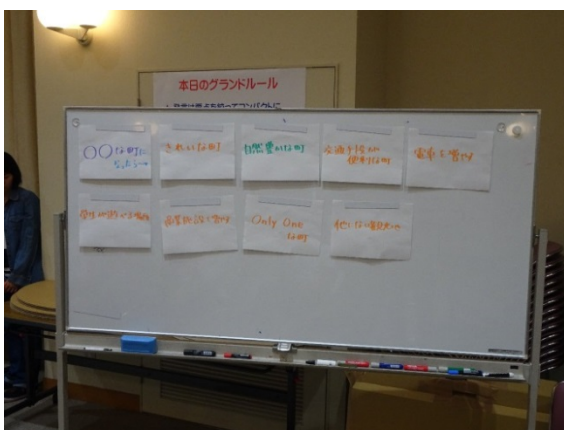
グループ④の発表KPシート				
歩きやすく安全な人がふれあえる歩道	留学生・インバウンド客にもやさしい多言語対応	便数があり乗りつぎしやすい使いやすい公共交通	景観(写真スポットなど)	集える場所
トイレがキレイ	Free Wi-Fi	街灯	歩いて楽しいまち	

【グループ5】

① 話し合いシートに記載されていたキーワード

- ・自然を残す
- ・遊ぶ場所が少ない
- ・謎解きイベントがしたい
- ・電車の本数
- ・旅行
- ・特別支援市（県外から来た方を3か月ほど支援するなど）
- ・みんなが安心して明日を迎えられる町
- ・観光客を増やす
- ・映画が見れる場所
- ・自立した子供を育てる
- ・特色のある学校作り
- ・電車の本数

②グループ5の発表KPシート



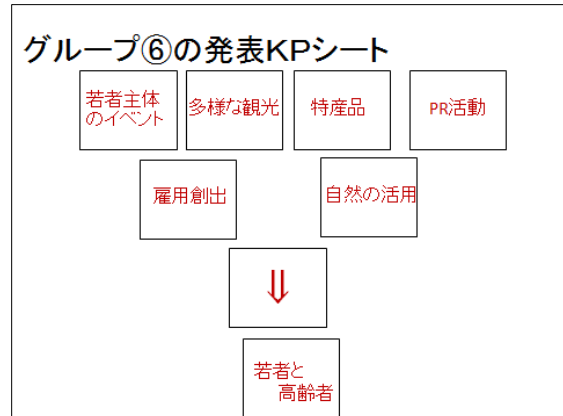
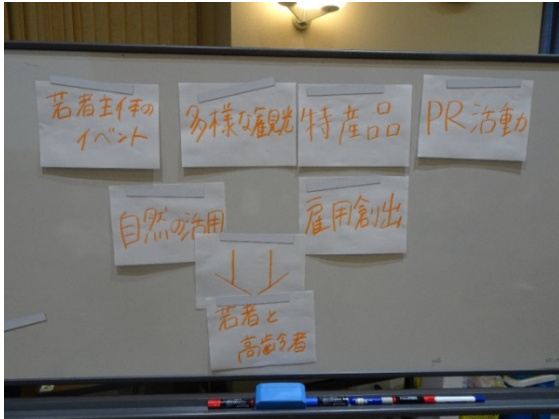
グループ⑤の発表KPシート				
〇〇な町になったら〜	きれいな町	自然豊かな町	交通手段が便利な町	電車を増やす
学生が遊べる場所	商業施設を増やす	Only Oneな町	他にない観光地	

【グループ6】

① 話し合いシートに記載されていたキーワード

- ・当面は高齢者に易しいまち
- ・いろいろな年代の人々が仲のよい街
- ・活気のある街
- ・暮らしやすい町
- ・雰囲気
- ・地域のかかわりを大切に
- ・人間関係
- ・観光資源の活用で再び備中の小京都に

②グループ6の発表KPシート

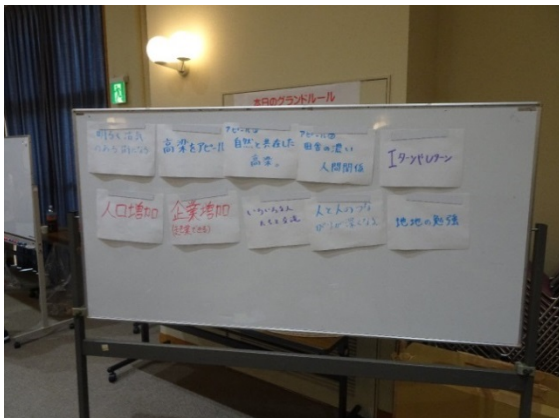


【グループ7】

① 話し合いシートに記載されていたキーワード

- ・人とのつながりを大切にしたい町
- ・起業できる
- ・明るいといい
- ・人が増えて活気が欲しい
- ・多くの企業が欲しい
- ・地域と日本について勉強できる場所
- ・Iターン、Uターン
- ・スポーツ
- ・安心安全に暮らせる
- ・交流の機会を増やす
- ・遊び場
- ・自然と共存した高梁になってほしい

②グループ7の発表KPシート

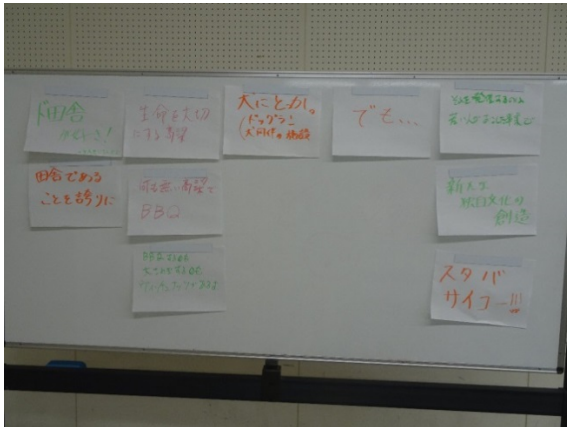


【グループ8】

① 話し合いシートに記載されていたキーワード

- ・スタバサイコー!!
- ・学費の無償化
- ・帰りたくなる高梁
- ・BBQ

②グループ8の発表KPシート



ド田舎が好き! って人もいるんだよ	生命を大切に する 高梁	犬にとっか (ドッグラン・ 犬同伴の施設)	でも...	それを発信 するのは若い 人がおこな した事業で
田舎である ことを誇りに	何も無い 高梁で BBQ			新たな独 自文化の 創造
	BBQするの も大騒ぎす るのもヴィ ジュアルが あるよ			スタバ サイコー !!

5)エンディング（感想の共有）

KP プレゼンテーション終了後に議員、大人、大学生、高校生、中学生各1名の人に感想を話していただき、最後に宮田副議長の閉会の挨拶で「市議会議員の皆さんと語り合う～みんなで語ろう高梁の未来～」を終了した。

4. おわりに

今回のフォーラムでは、まず、フリップボード・ティスカッションで、「高梁の人口変化の予測」、「幸せな人生を歩むために必要なこと」と「どんな高梁にしたいですか?」の3つのテーマについて話し合いを行いました。フリップボード・ティスカッションのまとめで示したように、とても多様な意見が出てきました。今回はこれらの意見をまとめることはしないで意見交換にとどめたため、出てきた意見を深めることはできませんでしたが、その分自由な意見交換をすることができたのではないかと思います。このディスカッションで、多様な考え方が存在することを知ら、という当初の目標を達成できたと思います。

ワールドカフェでは、フリップボード・ティスカッションの流れを受けて、「市民が幸せに生きるために必要なこと」と「こんな高梁になって欲しい」というテーマで意見交換を行いました。ワールドカフェの中でも各グループ内で様々な意見が出てきたことはとても良かったと思います。

一方、「こんな高梁になって欲しい」というテーマで話し合った後に、KP法（紙芝居プレゼンテーション法）で話し合った内容を発表してもらいましたが、話し合いの結果をまとめるという作業を入れてしまったことから、自由な意見交換が少し制約を受けてしまったように思われました。今回のフォーラムの目標から考えると、まとめを入れないでワ

ールドカフェだけの話し合いで終わった方が良かったかもしれないという反省点が残りました。

今回のフォーラムには中学生、高校生の皆さんも参加してくれました。フリップボード・ティスカッションでは、大学生、市民、市議会議員の皆さんと一緒に意見交換をしましたが、中学生、高校生の皆さんもしっかりと自分の意見を話してくれました。年代と所属を超えてフラットで、批判される心配のない場で、大人の皆さんと意見交換ができたことは、中学生、高校生、大学生の皆さんにとってはとても良い学びの機会になったと思います。

特に、大学生にとってはとても良い学びの場となりました。今回のフォーラムで行った、フリップボード・ティスカッションではグループメンバーの意見を引き出すファシリテーションを担当するファシリテーターが必要不可欠です。そこで、今回のフォーラム開催に当たっては、井勝研究室2・3年生がファシリテーションの勉強と練習を繰り返して行いました。フリップボード・ティスカッションの中では、大学生が学んだ事を駆使しながらファシリテーターとしての役割を果たしていました。もちろん、ディスカッションを上手にファシリテートできた学生とそうでない学生がいましたが、今回の経験から多くのことを学んだのではないかと思います。今回のフォーラムは中学生、高校生、大学生が地域の皆さんから育てていただく機会にもなったのではないかと思います。

今回は終了後のアンケートを取りませんでした。そのため、参加者の皆さんの感想を報告書にまとめることができませんでしたが、フォーラムの最後に議員、大人、大学生、高校生、中学生各1名の人に感想を話していただきました。その中で、それぞれの皆さんが前向きな感想を述べておられたことは、今回のフォーラムが初期の目標を達成したことを表しているのではないかと思います。

今回のフォーラムは、高梁の未来づくりについて成果を上げることを目標とせず、参加者が高梁の未来について考えている自分の思いを語り合うことで、多様な意見や考え方が存在することを認めあうことを目標として開催しました。今回、多様な年代、所属の皆さんに参加していただいたことで、目標は達成できたのではないかと思います。

今回のような自由な意見交換から多様なアイデアが生まれ、まちづくりの参考になりそうなキーワードが出てくるのではないかと思います。まちづくりの方向を集約することが必要だとは思いますが、一方で多くの市民の皆さんがまちづくりに参加することが、まちづくりを成功させるために必要に事ではないでしょうか。そのためには、市民の皆さんが自由に意見を交換することができる機会が必要だと思います。今後もこのような機会を提供していきたいと考えています。

付録

1) ポスター・チラシ

第17回 エデュケーレ in たかはし

市議会議員の皆さんと語り合う

がんばろう高梁

「みんなで語ろう高梁の未来」

高梁市では「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定して、市の活性化に取り組んでいますが、相変わらず人口の減少に歯止めはかからず、このままでは市民生活にも大きな影響がでることになると思われます。このような状況の中、地域の未来を行政だけに委ねるのではなく、市民が自分たちで考え、創り上げることが大切ではないかと考え、市民、若者、市議会議員の皆さんがざっくばらんに、高梁の未来について語り合う会を開催することにしました。

今回の語り合う会では、高梁の未来づくりについて成果を上げることが目標としていません。今回は、様々な参加者が高梁の未来について考えている自分の思いを語り合うことで、多様な意見や考え方が存在することを認めることを目標としています。

日時：令和元年7月20日(土) 13時30分～16時30分
(13時00分受け付け開始)

会場：吉備国際大学国際交流会館2階多目的ホール
〒716-8508 高梁市伊賀町8

内容：少人数でグループを組み、フリップボードディスカッションとワールドカフェを用いて、高梁の未来について意見交換会を行います。

定員：60名

参加費：無料

申込み：当日参加も可能ですが、人数確認のため、できるだけ申込みをしていただくと助かります。

Facebookのイベントページの参加ボタンを押して下さいませません。



主催：吉備国際大学社会科学部

共催：高梁市議会

後援：高梁市

高梁商工会議所青年部

高梁地域まちづくり協議会

一般社団法人 梁クラス

問い合わせ先・参加申込先

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8

吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科

井勝(いかつ)研究室

TEL/FAX:0866-22-9223

E-mail:ikatsu@kiui.ac.jp

2) プレゼンテーション資料

2019/7/30

第17回 エデュカーレ in たがはし

がんばろう高梁

市議会議員の皆さんと語り合う
「みんなで語ろう高梁の未来」

本日の成果目標

様々な参加者が高梁の未来について考えている自分の思いを語り合うことで、多様な意見や考え方が存在することを認め合うこと目標としています。

本日のプログラム

1. オープニング (5分)
2. チェックイン (10分)
3. グループ分け (10分)
4. フリップボード・ディスカッション (40分)
5. 休憩 (10分)
6. グループ分け (10分)
7. ワールドカフェ (40分)
8. まとめと発表 (50分)
9. エンディング (5分)

チェックイン

- ★ 名前
- ★ 生まれたところ
- ★ 住んでいるところ

一人10秒以内でお願いします

グループ分け

名札の名前順(あいうえお)に並んでください

- ★ 市民
- ★ 市議会議員
- ★ 大学生
- ★ 中高生

名前 または ニックネーム	住んでいるところ
趣味 特技 マイブーム	私を 食べ物 に例えると

フリップボード ディスカッション

本日のグラドルール

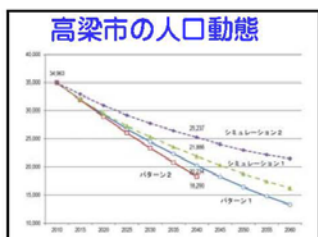
- ★ 発言は要点を絞ってコンパクトに
- ★ メンバーの話をよく聴きましょう
- ★ 批判や否定はいけません
- ★ 笑顔と笑いが大切です
- ★ 20cmのうなずきで会話が弾みます

フリップボード・ディスカッションのテーマ①

高梁市の人口は

どのように変化すると思いますか？

そう思う理由は？



フリップボード・ディスカッションのテーマ②

幸せな人生を歩むために
必要なことは何だと思いますか？

テーマ③-1

高梁市市会議員の皆様へ伺います
どんな高梁にしたいですか？

テーマ③-2

高梁市市会議員以外の皆様へ伺います
議員の皆さんが考えた
高梁の未来をさらに良いものにするためのアイデアをください

ワールドカフェ

- ### ワールドカフェ
- ① 最初の話し合い : 8分
 - ② 席を移動して話し合い : 8分
 - ③ 自分の席に戻って話し合い : 8分
 - ④ 高梁の未来について話し合い : 15分

グループ分け

今朝起きた順に並んでください

- ★ 市民
- ★ 市議会議員
- ★ 大学生
- ★ 中高生

名前 または ニックネーム	住んでいる ところ
趣味 特技 マイブーム	私を 食べ物 に例えると

ワールドカフェのルール

必ずキーワードを
書き出しながら(見える化)
話し合ってください

ワールドカフェのテーマ①

高梁市民が幸せに生きるために

必要なことは何でしょうか？
どんなものが必要でしょうか？
どんな仕組みが必要でしょうか？

ワールドカフェのテーマ②

こんな高梁になってほしい

まとめと発表

KP法で発表

KP法を使ってKP法の説明をします

KP作成手順①

キーワード(10~20個)を
ポストイット(大)に
書き出してください

時間は5分です

KP作成手順②

ポストイットを
説明しやすいように
並べてください

時間は5分です

KP作成手順③

キーワードを刺さる言葉に
変更してください

このときポストイットを
10枚以内にまとめてください

時間は3分です

KP作成手順④

A4用紙に大きく書いて
ください

1行10文字以内で3行以内

時間は5分です

まとめと発表

KP法で発表

エンディング

3) 写真

① 実行委員挨拶（橘高）／参加者全員でチェックイン自己紹介



② グループに分かれて自己紹介



③ 高梁の未来についてフリップボードディスカッション①



④高梁の未来についてフリップボードディスカッション②



⑤エンタくんを使ってワールドカフェ



⑥ワールドカフェの結果をK P法で発表するためキーワードの書き出し



⑦キーワードをA4用紙に書き出してKP法の準備



⑧各グループがKP法でプレゼンテーション①



⑨各グループがKP法でプレゼンテーション②



⑩閉会の挨拶（宮田副議長）



⑪集合写真



4) 新聞記事

吉備国際大社会科学部 (高梁市伊賀町)は20日、奥万田町の順正学園国際交流会館で、市の将来やまちづくりについて学生や市議と意見を交わす「みんなで語ろう高梁の未来」を開く。市民の参加を呼び掛けている。

高梁市の人口減少に歯止めがかからない中、地域の将来について行政任せにせず、住民自ら主体的に考える機会にしよう

と企画。当日参加予定の市議有志約10人と学生を交えたグループをつくり、市の未来や地域活性化策などを

20日、吉備国際大

自由に語り合ってもらおう。学生や市民の課題解決能力を引き出そうと、同大が2015年度から展開する「エデュカレイン」はか

意見交換、市民参加募る

午後1時半～4時半。参加無料。申し込み(当日参加も可能)、問い合わせは井勝教授の研究室(0866-22-9223)。(小林貴之)

身近なコース、会合、催しなど、お知らせください。

高梁支局 高梁市 中間町80 TEL:0866-22-2155 FAX:0866-22-9226

新見支局 新見市高尾 372-13 TEL:0867-72-0163 FAX:0867-72-9050

2019年(令和元年)7月23日 火曜日 高梁・新見 30

働く場確保、子育て支援、交通の充実…

高梁の将来 熱い思い次々

Takahashi・Niimi

高梁・新見圏版

高梁市の将来について市内の若者が市議を交えて自由に話し合う「みんなで語ろう高梁の未来」(吉備国際大社会科学部主催)が20日、奥万田町の順正学園国際交流会館で開かれた。人口減が進む高梁の活性化を願う熱い意見が世代や立場を超えて飛び交った。(小林貴之)

市議有志8人をほじり、語り合った。め、市内の中高生や同大、働く場の確保、子育て、多様な意見を議会にの学生、市民ら約50人が、支援や公共交通の充実、反映させる仕組みが必要。市議を1人ずつ入、実などを求める声が必要。この主張もあつた。れた班に分かれ、「市民が、次いだ。「高梁には若、議論の内容は各進で幸せになるために必要な、者が買物を楽しんだ、集約、整理して発表。こと、「こんな高梁になり、集まったりできる、豊かな自然や人のつな、ってほしい」といった、場所があまりに少ない、高梁の強み

中高生や市民ら50人

市議交え意見交換

吉備国際大社会科学部が「語り合う」

とす声が多く、若者から高齢者までいろんな人が交流できる場を、「高梁の魅力を若者こそ積極的に発信していこう」といった意見が出た。

高梁中3年金子紅葉さん14は「高梁を良くしたい」という思いをみんなが持つという、立場の人と意見を交わすのが思った以上に楽しく、今後も機会をつくらせてほしい」と話した。

学生や市民の能力を引き出そうと、同大が2015年度から展開する「エデュカレイン」はか(小林貴之)の一環で開かれた。

自宅葬株式会社
高梁市松原町 0866-22-9223

実行委員名簿

◇実行委員長

橘高 優太 (社会科学部 経営社会学科 3年)

◇副実行委員長

坂本 大成 (社会科学部 経営社会学科 3年)

佐々木 香依 (社会科学部 経営社会学科 2年)

◇実行委員

アラワツタゲ トウシャーリ マドウシャーニ (社会科学部 経営社会学科 3年)

ハウ グエン バオ チャウ (社会科学部 経営社会学科 3年)

黒田 圭太 (社会科学部 経営社会学科 3年)

山川 航輝 (社会科学部 経営社会学科 3年)

菊池 健太 (社会科学部 経営社会学科 3年)

李 弦咫 (社会科学部 経営社会学科 3年)

アンドリヤント (社会科学部 経営社会学科 3年)

竹内 こすも (社会科学部 経営社会学科 2年)

柳邊 遥 (社会科学部 経営社会学科 2年)

ダヌ サプトウロ (社会科学部 経営社会学科 2年)

ファミ バー ニヤット ミン (社会科学部 経営社会学科 2年)

レー グエン キュー カン (社会科学部 経営社会学科 2年)

連絡先

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町

吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科

井勝 (いかつ) 研究室

TEL/FAX:0866-22-9223

E-mail:ikatsu@kiui.ac.jp